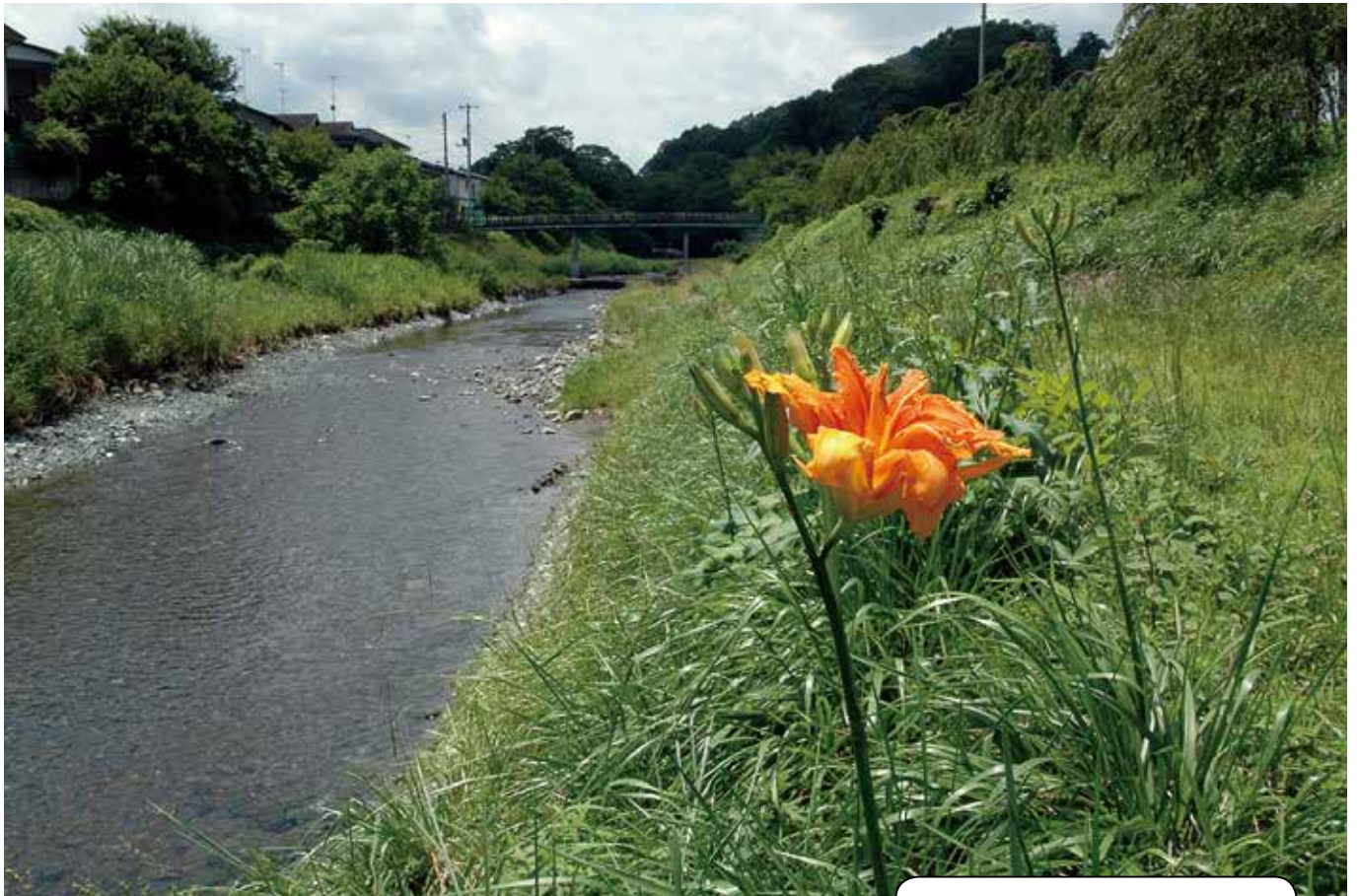


議会だより

発行 日の出町議会
編集 議会だより編集委員会
〒190-0192 西多摩郡日の出町平井2780
TEL 042 (597) 0511
FAX 042 (597) 4369



ノカンゾウ咲く平井川

撮影：土田 稔さん（平井在住）
撮影場所：春日神社前の平井川

平成 27 年 第 2 回定例会

- ・日の出町介護保険条例の一部を改正する条例など
9 件の議案を審議 …… 2P
- ・垂直離着陸輸送機CV-22オスプレイの
横田基地配備に対する決議 …… 3P
- ・町に提言・報告書を提出(常任委員会特定事件調査結果) …… 4P
- ・ **一般質問** 「町政を問う」11人の議員 …… 6P

定例会

審議内容



6月1日から6月12日までの12日間の会期で開催されました。今回の定例会では、8件の町長提出議案と1件の議員提出議案を審議し、すべて原案通り承認、同意、可決しました。主な議案として、条例では地方税法の改正に伴い、下記の3条例が改正されました。

予算としては、一般会計補正予算（第1号）、介護保険特別会計補正予算（第1号）がそれぞれ審議されました。

議員提出議案として、オスプレイの横田基地配備に関する決議を可決しました。

委員会の閉会中の継続調査報告として、総務まちづくり常任委員会、厚生文教常任委員会からそれぞれ報告があり、承認されました。

条例の一部改正

- ・専決処分の承認を求めることについて（日の出町税賦課徴収条例等の一部を改正する条例）……………承認

- ・専決処分の承認を求めることについて（日の出町都市計画税条例の一部を改正する条例）……………承認

- ・専決処分の承認を求めることについて（日の出町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）……………承認

右記の3条例については、地方税法の改正に伴い改正するもの。

- ・日の出町介護保険条例の一部を改正する条例……………可決

第一段階の保険料基準額に対する割合を0.5から0.45に軽減し低所得者の介護保険料軽減強化を行うもの。

予算

- ・平成27年度日の出町一般会計補正予算（第1号）……………可決

歳入歳出それぞれ千〇百50万円を追加。

- ・平成27年度日の出町介護保険特別会計補正予算（第1号）……………可決

人事

- ・日の出町監査委員の選任について……………同意

代表監査委員の古山喜一郎氏の退任に伴い山崎久典氏が選任されました。



山崎 久典氏
任期
平成27年6月16日～
平成31年6月15日

契約

- ・日の出町諏訪下町営住宅建替え事業（二期工事）請負契約の締結について……………可決

議員提出議案

- ・垂直離着陸輸送機CV-22オスプレイの横田基地配備に対する決議……………可決

継続調査報告

- ・総務まちづくり常任委員会補助道第19号線歩道橋設置工事について……………承認

- ・厚生文教常任委員会災害に強いまちづくりについて……………承認

垂直離着陸輸送機 CV-22 オスプレイの横田基地配備に対する決議

平成 27 年 5 月 11 日、米国政府から日本政府に対し、平成 29 年後半から CV-22 オスプレイを横田基地に配備する旨の接受国通報があり、同 12 日と 15 日に外務省及び防衛省から「横田基地周辺市町基地対策連絡会」の構成 5 市 1 町へ説明がなされた。

その内容は、平成 33 年までに、計 10 機の CV-22 オスプレイを横田基地に配備し、そのうち最初の 3 機を平成 29 年後半に配備すること、また、オスプレイの配備の意義、安全性、訓練・騒音等についてであった。

日の出町は「横田基地周辺市町基地対策連絡会」の構成自治体ではないが、日の出町においても低空飛行や夜間訓練の飛行経路となっており、住宅地・学校等、少なからず騒音などに悩まされている。

オスプレイの配備については、かねてより航空機騒音に悩まされ、また、航空機の墜落や部品落下といった人命にかかわる事故への懸念などからも、周辺住民の日常生活での不安が続いている。

そのような中、今回もまた、地元自治体や近隣自治体、周辺住民に対する十分な説明責任を果たすことなく、安全性への疑問が払拭されない CV-22 オスプレイの横田基地への配備が突然決定されたことは、極めて遺憾なことであり、日の出町議会として強い憂慮の念を示すものである。

上記のとおり決議する。

平成 27 年 6 月 12 日

東京都西多摩郡日の出町議会

防 衛 大 臣
外 務 大 臣 様
北 関 東 防 衛 局 長

決議の要旨

政府に対し、国の責任において、都をはじめ地元自治体や近隣自治体、周辺住民に対して十分な説明責任を果たすとともに、安全対策の徹底と環境への配慮等を米国に働きかけることを求める決議を議決しました。

町に提言・報告書を提出！

(常任委員会特定事件調査結果)

補助道第19号線歩道橋設置工事について

総務まちづくり常任委員会では、補助道第19号線歩道橋設置工事について、必要性及び緊急性等を検証するため、町の検討経過、現地調査等調査研究を行い、報告書をまとめ、町長に提出しました。

委員会のまとめ

町の中学生の通学の安全を第一とする考えを理解し、評価したうえで諸般の事情を考慮し、補助道第19号線歩道橋設置工事は、慎重に取り扱っていただきたい。

計画を進めるについては、多額な経費も要するため、交通量調査の実施、歩道橋設置のメリット・デメリット、現状で取り組んでいる通学路の交通安全対策を含め、必要性について再度検討していただきたい。

通学路の安全対策は重要な課題である。

生徒と運転者双方に交通ルールの周知の徹底、交通指導員の充実配置などを行い、さらに警察との協議を行い、継続的に通学路の安全確保に努めていただきたい。

総務まちづくり常任委員会



現地調査の様子

災害に強いまちづくりについて

厚生文教常任委員会では、災害に強いまちづくりについて、町の現状を把握し、対象者の検討、問題点と改善策の検討・検証を行うため調査・研究を行い町民の安全・安心を図るため提言として町長に提出しました。

委員会のまとめ

(一) 行政課題等について

「問題点の洗い出しから個々の課題を明確にし、その対策を講じる必要性がある」他4項目の課題について提案。

(二) 自助・共助の人的対策等について

「自助・共助そして公助」の中で、まずは自助の個人としての意識を高める活動を展開し、そこから必然的・自発的に組・自治会レベルの共助ができるような啓発活動を行っていくことが重要」他5項目について提案。

(三) 物的対策等について

「住宅の耐震化については、やはり経済的理由で不十分なお家も多い。今後は比較的安価に設置可能な住宅の部分の耐震化であるシェルターやシエルトターベッドの推進と助成問題についても合わせて検討して頂きたい。」他2項目について提案。

(四) 周知・啓発活動と情報の共有化について

「今後、有識者を職員として採用するか、その個々の情報に精通した有識者からのアドバイスや連携を取り入れるシステムを構築して頂きたい」他4項目について提案。

厚生文教常任委員会



委員会の様子

議 案 と 結 果

＜町長提出議案＞

○…賛成 ×…反対 欠…欠席

番号	議 案 名	自	政	公	町	共	志	新	結 果
30	日の出町監査委員の選任について	○	○	○	○	○	欠	－	同意
31	日の出町町税賦課徴収条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	欠	－	承認
32	日の出町都市計画税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	欠	－	承認
33	日の出町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	欠	－	承認
34	日の出町介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	欠	－	可決
35	平成 27 年度日の出町一般会計補正予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	欠	－	可決
36	平成 27 年度日の出町介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	欠	－	可決
37	日の出町諏訪下町営住宅建替え事業（一期工事）請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	－	可決

※議案第 31 号から第 33 号までは「専決処分の承認を求めることについて」
 ※一新の会（新）については議長を務めているため採決には参加していない。

＜議員提出議案＞

番号	議 案 名	自	政	公	町	共	志	新	結 果
1	垂直離着陸輸送機 CV-22 オスプレイの横田基地配備に対する決議	○	○	○	○	○	○	－	可決

＜継続調査報告＞

番号	議 案 名		結 果
1	補助道第 19 号線歩道橋設置工事について	総務まちづくり常任委員会	承認
2	災害に強いまちづくりについて	厚生文教常任委員会	承認

＜各会派の名称と所属議員＞

会 派 名	略 号	所 属 議 員（★印…会派代表者）	
自民蒼政クラブ	自	★平野隆史・星野 茂・小玉正義・東 玉喜・川脇敏徳	5 人
政 和 会	政	★濱中映慈・神田芳男・濱田敏郎	3 人
公 明 党	公	★大澤言枝・嘉倉 治	2 人
町 民 党	町	★田村みさ子・青鹿和男	2 人
日 本 共 産 党	共	★折田真知子	1 人
志 政 会	志	★森田征四	1 人
一 新 の 会	新	★加藤光徳	1 人

一般質問

11人の議員

町政を問う

要旨

ひのでちゃんプレミアム商品券を問う
 質 地域の消費喚起が期待されるプレミアム商品券発行事業について①発行時期②商品券の種類③販売所④何冊発行で1人当りの購入冊数は⑤利用期間⑥周知徹底について。
 町長 ①8月2日②1万円で1万2千円の商品券。500円券24枚綴り。大型・小型店用A券B券の2種類。③8



セルフネグレクトを問う
 質 セルフネグレクトとは。町の実態は。課長 1人暮らしの高齢者の中で生活能力が低下し、自分のことができない「自己放任」の状態の方を言う。過去3人程度支援を行った。将来像として地域ケア会議等の中で部会形式とし、こういった問題を専門的に検討し

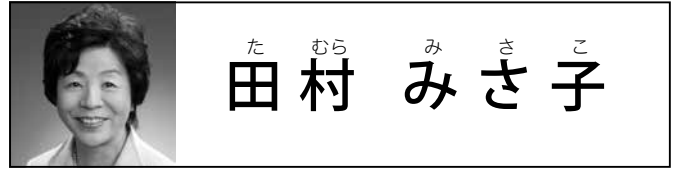


見本



2種類のプレミアム商品券

ふるさと納税を問う
 質 過去に提案したふるさと納税の進捗状況について。課長 本制度のメリットが見出せない状況にある。今後も注視、検討していく。
 質 税込増だけでなく、返礼品の充実で地域の産業や観光のPRをする絶好のチャンスと捉え、実施すべきでは。
 課長 引き続き情報収集し、検討を進める。



西多摩くらしの相談センター

実施内容	日時	場所
(1) 日の出町くらしの相談会	毎週木曜日 13:30～15:30 (祝日と年末年始を除く)	第1・3・5週 日の出町 やまびこホール
(2) 日の出町くらしとしごとのステップアップ講座	毎週木曜日 16:00～18:00 (祝日と年末年始を除く)	第2・4週 ひのでグリーンプラザ
(3) ホットスペース ちえの輪	毎週木曜日 16:00～18:00 (祝日と年末年始を除く)	

観光施設における災害対策を問う
質 町の各観光施設には災害対応マニュアルがあるか。
町長 消防法で定める消防計画により、火災・地震・その他の災害による人命の安全と災害の軽減を目的に避難誘導等に関する方針が定められている。
質 土砂災害警戒警報への対応はどうか。
町長 各施設に防災行

政無線戸別受信機を設置、迅速な情報提供を図り早期の避難等で被害を最小限に留める。
保育料改定を問う
質 4月からの主な変更点は。
課長 ①町民税額により保育料を算定する。②階層区分を3階層合計18段階とする。③改定時期は毎年、町民税確定後の9月となる。

生活困窮者自立支援制度を問う
質 具体的取り組みは。
課長 西多摩福祉事務所が青梅合同庁舎に西多摩暮らし相談センターを開設、やまびこホールまたはグリーンプラザで毎週木に巡回相談を行う。相談受付、個別相談、子ども学習支援等を実施する。

(仮称)東光院橋建設計画を問う
質 現在までの取り組みを伺う。
課長 26年度に詳細設計が終了しているので今年度中に設計図を基に工事積算を行う。
質 スケジュールと課題は。
課長 28年度に予算要求を行い、下部工事を予定している。なお、湧水期での工事施工が必要となるため、同年の10月から翌3月にかけての見通しになる。その後、29年度に上部工事を施工し完了させることを考えている。
質 工事費については概算で2億円を見込んでいます。課題としては工事期間中の付近の道路の昼間通行止めなどである。

(通称)平井川北道路の拡幅計画を問う



東光院橋建設計画地
(平井老人福祉センター付近)



星野の 茂

質 今後の整備見通しと当面の課題を伺う。
課長 現状において、一部地権者からの賛同が得られなくなっているため事業の推進が難しくなっていて一時的な状態にある。事業の再開には、関係者全員の要望書を提出して頂くことを前提に考えている。

パークタウン(27自治会)の北側対岸の護岸対策を問う
質 現地の状況から一刻も早い本格的な対策が必要と考えるが。
課長 西多摩建設事務所を確認したところ、昨年7月に応急復旧工事のモルタル吹付けを実施したが、今後は地質調査をして詳細設計を行い、今年度中に対策工事を実施する予定と伺っている。



嘉倉 治

定住化促進と地方創生の活力を問う

質 地方創生の根幹は「ひと・まち・しごと」であるが、強化すべき定住促進策の基本的見解を伺う。

町長 人口流入の受け皿として、良好な住宅環境は必要と考えており、総務省が立ち上げた「移住ナビ」を活用し情報提供の充実を図っていききたい。

質 子育て世帯に対するの税制面での優遇措置や、空き家の利活用について伺う。
町長 町では子育てクーポン、医療費助成を実施していることから新たな優遇措置は考えていない。空き家対策と利活用については担当課で当町に適した対策を検討しているところである。

質 町が掲げる地方創生ビジョンを伺う。

町長 有識者会議を6月中に立ち上げ、人口ビジョンを策定した後総合戦略を計画する。

町内、街路灯のLED化促進について問う

質 LED化の計画概要を伺う。

課長 平成27年11月から28年2月にかけて、LEDの設置工事を



LED街路灯

い、平成28年4月より維持管理も含め10年間のリース契約をする。

質 コスト並びにCO2削減効果は。

課長 年間コスト削減は86万円となり、CO2は年間389CO2tの排出量削減になる。

自転車の交通マナーの徹底を問う

質 藤谷街道に自転車専用レーンを設けては。

町長 積極的に関係機関に働きかけたい。

小玉 正義



総務費情報処理費について問う

質 27年度の予算が最近5年間で最大だがその特徴は。

課長 社会保障税番号制度のシステム改修費として、27年度に7千百万円が予算計上されている。

質 その計画の内容は。

課長 住民記録、福祉システムの改修や、団体内で個人番号と宛名番号をひもづけるため



PTA改善要望により設置された看板 (平井地区)

の団体統合宛名番号システムの構築等に充てる。

質 第四次長期計画後期基本計画に「情報通信技術を活用した地域コミュニティ活動の活性化、災害時の情報収集をしやすいとする公共施設の計画」があるが、計画の内容は。

課長 スマートフォンやタブレット端末の急増により、公衆無線LAN(Wi-Fi)を活用した、情報収集・交換が盛んに行われている。町においても、災害時の、情報収集に公衆無線LANを使用出来る。

る環境整備を進めるため3力所計画している。PTA連絡協議会の「危険箇所改善要望書」について問う

質 最近の指摘事項と、改善内容及び割合について。

課長 最近3年間では毎年50〜60件の要望がある。

支障木の伐採、通行車両への注意喚起としての「学童多し注意」の看板の設置、交通安全に関する広報・啓発など、所管課にて迅速にできる事項の7割については実現している。



老朽化が進むさかな園

消防団について問う
質 資機材の配備状況と詰所の立替え計画は。
町長 団員の安全確保の備品として安全靴、ヘルメット、特殊素材手袋を全団員に配備した。本年度は第2分団第3部の詰所建築工事を行い、経過年数・対応年数を考慮し順次立替え計画を進めたい。
質 新入団員の確保は。

町長 消防団との連携を図り町の広報等で消防団PRを強化するとともに、福利厚生助成金や消防団家族福利厚生助成金の支給を継続して、団員、ご家族を通じて消防団の魅力を発信して行く。
質 消防団だよりについて。
町長 創刊から14年目となり、25年度よりカラー版で紙面の充実を図り、町民の防火・防

災・災害の認識を深め、消防団への理解をして頂くために町としても発行に協力して行く。
さかな園について問う
質 施設の老朽化が目立ち修繕が必要と思われるが、町の考えは。
町長 農山漁村の過疎化対策の一環として開園以来38年が経過しており、老朽化が進んでいる。組合員一丸となって地域の発展に尽力されてきた事から今後も観光産業発展の強い原動力となる重要な施設であるため、改修・修繕を計画して行く。
質 2階の宴会場にトイレが無く利便性に欠けるが町の考えは。
課長 高齢者の利用も多く、階段の上り下りに苦痛や危険が伴うため、町としても前向きに検討する。



平野の隆史

学童保育について問う
質 子ども・子育て支援新制度に伴う状況について。
課長 児童1人当りの専用面積が概ね1.65㎡以上、支援児童単位概ね40名以下、入所対象者が、1年生〜4年生が6年生までに改正した。基準を満たさない学童クラブがあるので、経過措置を設けている。
質 1人当りの専用面積を町は、満たしているのか。
課長 志茂町第1が手狭になっている。現状は、約半数の学童クラブが45名〜60名で、基準をオーバーしている現状である。支援事業が終了する31年度までには、基準を満たすよう取り組む。
質 保護者の方からの

相談及び要望について。
課長 各学童クラブにおいて、指導員が対応している。
質 保護者の意見や相談を受ける機会は設けているのか。
課長 入所説明会及び保護者会には話し合いの機会を設けているが、保護者会は学童の方に任せていたので、



学童保育の様子

今後、町職員も出席し接点を持っていきたいと考えている。
学校給食について問う
質 給食より発生する生ゴミについて。
課長 1日当り150kg生ゴミが発生しているが、生ごみ処理機導入で残渣は殆どでない。
質 食材の地産地消について。
課長 26年度は、町で取れた野菜2千451kg使用し、限られた給食費の中、より多くの地元食材を取り入れたい。



川 脇 敏 徳

教育行政と学校教育について問う

質 総合教育会議の招集・開催状況は。

課長 6月17日頃の開催に向けて調整中。

質 大綱の策定概要は。

課長 第四次日の出町長期総合計画後期基本計画と教育委員会の教育目標、基本方針及び主要施策との整合性を図り策定する予定。

質 学校におけるICT教育のタブレット端末を採用した取組は。

課長 中学校2校においては、タブレットとして使用できるパソコンを昨年度から配置。

質 小学校においても、同等のものを28年度導入に向けて準備中。

質 タブレット等の機材整備費概算は。

課長 小学校3校の5年リース契約で試算額

6千2百20万円。

質 教育委員会とJAXA宇宙教育センターとの連携協定による教育支援活動等の取組があるが、これらについての見解は。

課長 非常に意義あることなので、研修形態の一つとして、照会研究していきたい。但しこれらの取組を選択し

実施する主体は学校側。質 教育長就任後6カ月が経過したが、今後の改善点や重点的取組・施策等は。

教育長 この5年間で小学校の児童数が19名増加し、学校経営に元気と活力を与えてくれる。今後は、校舎の老朽化対策を始め、IT機器の充実等改善すべき事は多々あるが、順次取り組み解消・改善と教育指導環境の充実に図りたい。



東 喜 玉



空き家対策を問う

問 税制改正大綱の内容と町の計画について。

課長 特定空き家等に係る土地について、課税標準の特例措置の対象から除外する措置を講ずるとある。今後は、空き家等に関する施策を総合的、計画的に実施するため、基本的な指針に基づき町の関連部署の体制整備、対策計画の作成、協議・検

討を進める。

災害対策を問う

質 震災時の児童生徒の避難対策について。

課長 震災・火災及び防犯を想定した訓練を全ての小・中学校で月1回定期的を実施。

質 登下校中に震度5以上の地震が発生した場合の対応策は。

課長 家の近くにおいて家族が在宅のときは、家に避難し、学校に近

朝の登校風景



とし、日頃から適切な行動がとれるよう指導している。

質 過去の大規模地震で、火災の6割が電気による火災が原因といわれている。防止対策として感震ブレイカー設置が有効といわれているが計画は。

課長 今後、町民皆様に感震ブレイカーの紹介、

自助の部分で設置を勧めていきたい。

基金の状況を問う

質 過去3カ年の基金残高推移と、今後の積立て計画について。

課長 5つの基金全体で、24年度12億2千3百万円・25年度17億5千4百万円・26年度決算見込16億4千万円。今後の積み立て計画は、財政調整基金を中心に残高の増加を図る。

あお しか かず お
青 鹿 和 男



自助・共助が進む 地域づくりを問う

質 職員、住民、防災関係者の「災害時になすべき行動を定めたマニュアル」の整備は。

町長 「職員防災活動マニュアル」の作成を進めている。

「消防団の災害時活動マニュアル」も作成に向け検討を始めている。

「住民向けマニュアル」は、ハザードマップ



プの活用方法についてPRしていきたい。

質 自力では避難行動を行うのが困難な住民に、共助による支援体制の現状は。

町長 「避難行動要支援者」への災害情報の伝達や安否確認、避難誘導、救助活動などの支援のうち、可能な支援を行ってもらう。

住民の共助を基本とし、支援体制の構築を目指している。

住民の共助を基本とし、支援体制の構築を目指している。

質 災害発生時にそれぞれの地区で想定される状況と、とるべき最適行動について記載したガイドブックを作成し、全戸に配布しては。

町長 防災活動で得たデータのハザードマップへの反映や、自治会独自のハザードマップづくりへの協力は、今後検討する。

また、住民が取るべき最適行動はハザードマップの裏面に掲載されている。

現在、東京都が災害時の避難行動や注意事項を掲載した「防災ブック」の都内全世帯への配布を計画。

町のハザードマップとあわせ活用していた

町長 谷戸沢処分場の

「危険なオスプレイ配備」町の見解を問う

CV-22オスプレイ配備の説明を求めるときと考えるが。



おり たま ちこ
折田 眞知子

設置時に総合文化体育センター、更にスポーツと文化の森構想等、事業実現に協力する旨の条件を付して基本協定を締結している。また、東京都行政部が近々、谷戸沢・二ツ塚の処分場を視察予定。

保育料見直しを問う
質 制度改正による負担の増減は、どのような

課長 町は配備ありきでなく、安全性の確保と十分な住民説明が最も必要と考える。

質 危険な夜間・低空飛行は、認められないと考えるが。

課長 地域住民の生活が安心・安全に守られることを第一優先と考える。

スポーツと文化の森に都立の体育施設建設を
質 オリンピックを梃に誘致を進めては。

町長 谷戸沢処分場の

保育料見直しを問う

になったか。
課長 移行措置として26年度より高くなる場合は据え置き、低くなる場合はその額とした。保護者負担は低くなるようにした。

質 今後の見直しは。

課長 保育料のみならず、制度の在り方について情報収集し、子育て支援策全体のバランスを考慮し、必要な部分の見直しを行うことも検討する。



オスプレイ

議会日誌

次の議会は9月に開かれます

- ・8月 27日(木) 新人議員研修会 10:00
- ・9月 1日(火) 議員懇談会(自己紹介等) 10:00
- 3日(木) 第一回臨時会 10:00
- 9月定例会日程(予定)**
- 9月 4日(金) 議会運営委員会 10:00
- 5日(土)～6日(日) 休会
- 7日(月) 本会議(議案審議) 10:00
- 8日(火) 休会
- 9日(水) 常任委員会
総務まちづくり 9:00
厚生文教 13:30
- 10日(木) 休会
- 11日(金) 議会運営委員会 10:00
- 12日(土)～13日(日) 休会
- 14日(月) 予算決算常任委員会 10:00
- 15日(火) 予算決算常任委員会 10:00
- 16日(水) 休会
- 17日(木) 本会議(一般質問) 10:00
- 18日(金) 本会議(一般質問) 10:00
- 19日(土)～24日(木) 休会
- 25日(金) 本会議(議案審議) 10:00

議会だより表紙写真募集

- ・応募期間 平成27年8月1日～10月5日
- ・第176号に掲載予定
- ・町内で撮影した秋をイメージした写真
- ・一人につき1作品応募できます。

表紙写真応募用紙に必要事項を記入の上、作品を添えてメール、郵送又は直接事務局まで応募下さい。応募用紙は、議会ホームページ・議会事務局まで。

- ・議会だより編集委員会が審査します。
- ・詳しくは、議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせ下さい。

待ってます



請願・陳情は！

9月の定例会では、8月20日までに受理したものについて審議します。それ以降の受付の場合は、次回定例会で審議することになります。

- その他、詳しいことは議会ホームページ、議会事務局まで。

ひので議会だより編集委員

川脇 敏徳 東 玉喜 小玉 正義
濱中 映慈 青鹿 和男 折田 眞知子
(編集委員長)

日の出町議会事務局

☎(597)0511 内線363
担当者 濱中 一成

編集後記

議会だより(175号)をお届けいたします。お手元に届く頃には、残暑がひとしお身に伝える季節となっております。お楽しみに思っています。

さて、議会だより編集委員は、平成23年8月改選時から2年目の役職人事で全員留任となり4年間務めさせていただきました。この間、議会広報を手にとり読んでいただけるよう編集委員会での試行錯誤を繰り返して編集作業にあたりました。広報の表・裏面のフルカラー化、表紙写真の公募など実現が図られました。

まだまだ、改革すべき課題がある中、27年8月18日告示、23日投票で議会議員選挙が行われます。

議会広報は、読者目線で「ありのままに」「わかりやすく」「住民とともに」が編集の原則です。次号からは、新たな編集委員会の皆様に期待すると同時に、引き続き住民皆様のご意見、ご要望等、お寄せ戴きますようお願い申し上げます。

編集委員会委員長 青鹿 和男